

- Stanford e-Hiroshima について、説明させていただきます。
- Stanford e-Hiroshima でございますが、9月4日土曜日に、開講式をオンラインで行います。
- アメリカのスタンフォード大学の協力により実施する Stanford e-Hiroshima というものをやっております、スタンフォード大学の講義の視聴や、受講生同士のディスカッションなど、全て英語で行わせていただきます。
- 昨年度は、コロナ禍で海外に行くことができない中で、良質な英語のプログラムが受講できるという理由などから、県内 28 の高等学校等から、75 名の応募がありました。
- 今年度も、県立高等学校や私立高等学校、24 の学校から、定員 25 名に対しまして、66 名の応募がございました。幅広い国際感覚を身に付けようと、高い意欲を持つ受講生が増えてっております。大変有り難いなと思っております。
- 9月4日土曜日に開催する開講式は、昨年度の 29 名の受講生の中で、最優秀賞を受賞した県立広島国泰寺高等学校と県立広島高等学校の生徒から実践報告や質疑応答を行います。それから9月からまた新しい生徒が入ってくるわけですが、新旧〔の受講生間〕でオンライン交流会をして、昨年度1年間やってみた難しさとか、どういふことを準備したらいいのかということ、Zoomを使ってやらせていただく予定です。
- コロナ禍でなければ、今申し上げた2名の生徒は、現地スタンフォード大学に行きまして、オンラインではなくて、現地に招聘されて、レポートの成果を発表する予定でしたが、今回は残念ながら、8月24日火曜日にスタンフォード大学主催のオンラインによる表彰式に出席し、成果発表をする予定です。
- 今後も、広島県教育委員会といたしましては、世界を視野に入れ、グローバル人材が活躍できるような、こういった取組を進めてまいりたいと考えております。